社会福祉法人　寿の会　　2026年3月31日

２０２５年度　事業報告書

この施設の目的は、介護保険法に基づき、要支援・要介護以上の状態にある老人に対し、看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他必要な医療管理を行うとともに、その日常生活上の支援を行うことを目的とし、自立した在宅生活を目指し支援する事業である。この目的に適合するよう事業の運営に努めたことを報告する。

１．月別入所・短期入所・通所状況・入退所状況

★寿の会事業所　稼働率状況★

１日平均稼働率　（単位：人）

老健あじさい	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	平均
入所	99.1	98.8	98.1	98.8	97.8	96.8	98.6	97.6	97.6	98.3	98.6	99.1	98.3
通所	24.2	24.9	25.2	25.6	24.9	26.0	25.7	25.6	26.2	24.3	25.5	25.3	25.3
すがや事業	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	平均
小規模	24.9	26.0	26.5	27.1	28.2	26.8	27.4	26.4	25.8	27.1	26.6	24.6	26.5
住宅	21.3	21.0	22.0	22.0	21.6	21.7	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	21.2	21.7

★老健あじさい在宅復帰状況

４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	計
100.0%	80.0%	57.1%	55.6%	57.1%	71.4%	100.0%	85.7%	60.0%	80.0%	83.3%	85.7%	76.3%

★事業所総括

デイケアの稼働増は、依然あじさい経営にとって大きな鍵となっています。昨年度から取り組んできた利用拡大に対する取り組みは、今年度においても継続して効果が見られています。いいスタートが切れた上半期に続き、下半期に入っても安定した稼働を維持し続けることができました。利用回数増を希望される方も増え、また体調不良等の理由から、お休みや入院・入所となる利用者も抑えられており、結果的に稼働を維持することに繋がっていると考えられます。その反面、年々低下傾向にある平均介護度については、これまで同様低下傾向が続いています。経営面においては重要なファクターであり、必要に応じケアマネに状況を伝えていく事は必要な事です。これまで以上により多くの利用者さんの意見を反映し、選ばれる事業所として満足度の高いデイケアをすすめていきます。

入所部門について、ここ数年、春から梅雨時期にかけて著しく減少する傾向がみられていましたが、今年度も僅かに減少傾向は見られたものの、稼働としては高く維持することが出来ました。下半期に入っても稼働については高い数字を維持し続けることができましたが、一方で回転率が低下したことで、短期集中リハや初期加算等の加算が結果的に抑えられてしまい、日当円にも僅かではあるが影響を及ぼす結果となっています。体調面で安定して過ごされる事は非常に大切なことではある一方、特養への転所も極端に減少している為、回転率が超強化型としては課題となってきています。一定数回転率を確保しつつ、在宅復帰率も同時にカバーしていく事を常に意識しコントロールしていく事が重要です。

すがや事業所として、今年も毎月 26 人というぽかぽか登録利用者の実稼働予算を立てて、その結果稼働予算の 26 人を下回ったのが 4.12.3 月の 3 か月だけであとの 9 か月は予算達成をすることができ、今年度の 1 年間の実稼働平均が 26.4 人で昨年と比較すると 2.2 人増加しており、この登録者数の安定が稼働予算達成に繋がり収益としても 300 万のプラスで終えることができたと思います。職員体制的には 8 月末で一人退職し、12 月から一人産休・育休に入り、看護師一人入職しましたが結局 12 月以降は一人少ない体制で稼働してきました。ただ人件費的には昨年度より今年度の方がかかっています。それでもこのような厳しい体制でも黒字で終えられたのは、職員一人一人が現状を理解し協力し合いながら利用者に真剣に向き合いケアしてきた

結果だと思います。
　また昨年度苦しめられた感染症のクラスターが今年度発生しなかったのは、職員の日頃からの感染対策のおかげであると思います。今年度もまずは職員が待ちこまないことを第一に考え、また感染者が発生した時は拡大を最小限に抑えることを全職員で日頃から考え行動しましょう。
　昨年度大きなマイナスを出したルーチェも今年度はプラスで終えることができました。予算は昨年度同様毎月 21.5 部屋を確保する予算で組み、結果９か月予算クリア出来ました。しかも９か月の内７か月は満床という結果を残すことができています。これは一年を通して退居が 1～2 人しかいなかったことと、退居しても 1 か月もしない間に新規の利用者が入居したことで空きの状況が数日で済んだことが大きかったと思います。また昨年の６月使用分から電気会社を変えたことで電気料金を 20%以上(昨年度９か月間との比較で約 100 万円）削減出来ていることも大きな要因になっています。
　この間、各サービス共に、年間予算を達成するための具体化として、稼働推移を毎日「見える化」することを提起してきました。全体とまでは言えませんが、経営的な数字と共に毎日の稼働に対する意識も高まりつつあります。また、加算に対する取り組みについても、まずは自分たちの日々の看護・介護に関する加算について知る事、そして現状から更に向上できることがないか視点を高く持ち、職場内の統一や、全体でどのように進めるかを議論することが必要です。経営的な視点からも、サービス向上の視点からも必須事項として引き続き取り組んでいきたいと思います。

２．　介護度別の利用状況

★寿の会全体　延べ人数★

介護度	要支援１(自立)	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
入　所			2,598	4,737	9,852	10,071	7,084	34,342
短　期		36	78	302	360	167	47	954
通　所	359	378	1,736	1,904	1,916	979	526	7,798
小規模	689	1,986	3,016	1,271	579	2,484	1,020	11,072
住　宅	426	1,673	1,928	744	352	1,985	817	7,925

※短期・通所ともに予防含む

３．　地区別利用状況

★寿の会全体　実人数★

地区	福井市	鯖江市	越前市	永平寺町	坂井市	越前町	あわら市	大野市	敦賀	県外	合計
計	217	3			3						223

４．　行事の実施状況

★寿の会全体★

月	行　事　名	月	行　事　名
4 月	桜花見ドライブ	10 月	コスモスドライブ
5 月	お茶会	11 月	フラダンス
6 月	つかちゃんミニコンサート	12 月	つかちゃん＆しーちゃんミニコンサート
7 月	スイカ割り	1 月	お寿司とおはぎで新年を祝おう
8 月	クリームあんみつを食べよう	2 月	バレンタインデー
9 月	敬老会、秋祭り	3 月	ひな祭り
＊毎月誕生会　＊生花　＊習字　＊民謡　＊カラオケ　＊ミニコンサート			

以上